

会員企業をたずねる

～ 女性の力、女性の声 ～

このコーナーは、会員企業をたずね、物流業界で働く女性社員に業務内容や、職場の取り組み、個人の抱負などを語ってもらうコーナーです。

第10回

株式会社ANA Cargo

オペレーション事業部

成田ウェアハウスオペレーションセンター

貨物サービス部 輸入課

篠原 絵美さん



PROFILE

2005年ANA ロジスティクスサービス(当時)入社後、成田物流事業部運送サービス部輸入1課に配属。ANAをはじめ航空会社から委託された国際貨物の輸入関連業務に携わり、2007年1月現部署へ異動。千葉県出身。学生時代は吹奏楽部で、皆で同じ目標を目指す楽しさを経験したとのこと。

——職場の業務や特徴について教えてください。

成田ウェアハウスオペレーションセンターは、成田空港における貨物の受託から、航空機への搭載、到着地での引き渡しまで、物流オペレーションにかかわるマネジメントを担当する部署です。私が所属する貨物サービス部輸入課は、輸入貨物のハンドリングのマネジメントを担当しており、作業プランの作成および指示、倉庫の搬入・仕分け、搬出業務を総勢100人のメンバーで行っています。日々の業務は、5人一組・12チームによるシフト体制により、午前には搬入業務を、午後には搬出業務を遂行しています。

——ご自身の担当業務を教えてください。

現在のチーム体制が開始した時点(2014年)からチームリーダーの一人として、マネジメント業務に携わっています。主な業務は、出発地からの情報に

よるスケジュール調整やチェック作業、後輩のマネジメントになります。

——業務上の課題は何ですか？

お客様の貨物をお預かりする上で、安全の確保は最重要課題です。近年では、お客様の安全に対する意識もますます高くなってきているため、私たちの作業にもよりきめ細やかな配慮が求められています。また、天候の悪化や出発地の都合など航空機のスケジュール変更が生じた場合は、ただちに作業プランを再構築しなければなりません。急な変更にも迅速に対応できるよう、日ごろから天候や出発地の情報などを収集するよう心掛けています。

当社では、世界中のお客様から愛される存在になることを目指し、企業ビジョンの一つとして「Japan Quality」を掲げています。海外の中には日本と同様とはいえない拠点がまだありますが、お客様にご満足いただけるサービスを提供するためにも、現場で働く私たちが率先して各国のスタッフと交流を図り、「Japan Quality」の浸透に貢献したいと考えています。

——仕事に対するやりがいを教えてください。

私たちの業務は、一人ひとりの力を結集しなければ成り立たない仕事です。トラブルが起きたときの調整には苦労が伴いますし、時には夜を徹すること



職場の皆さんと

もありますが、無事にお客様へ引き渡せたときに、チームプレーで解決できた達成感ややりがいを感じます。

また、取扱貨物は実に多種多様です。美術品輸入の際は、人の心を豊かにするものを扱うことに高揚しますし、医療品輸入の際には人の命や健康にかかわる仕事に携わっている責任も感じます。そうした貴重な経験もやりがいになっています。

——現在、職場で力を入れている取り組みを教えてください。

ANAグループでは、社員の良い行いを社員同士で褒め合う「Good Jobカード」制度を行っています。この制度が始まってから、社員同士がお互いを認め合うようになり、職場の雰囲気もますます良くなってきていると感じます。

——職場を一言で例えると。

「家族」です。当社には「3つのココロ(夢に全力で挑む 熱いココロ、仲間を信じ 思いやるココロ、全ての人へ 感謝のココロ)」というキャッチフレーズがあり、特に「仲間を信じ 思いやるココロ」が気に入っています。仲間を大切にしなければ、お客様に対しても良い仕事はできません。そう考えると、私たちの職場はお互いを思いやる、まさに「家族」のような雰囲気があります。私の役目は時に厳しいお母さん(笑)。以前、他の部署に異動した後輩に、「ここは実家のように。いつ来ても雰囲気が温かい」と言われ、とても幸せな気持ちになった思い出があります。

みんなの
お母さんとして
頑張ります！



デスクワーク中の篠原さん



——今後の抱負や目標を教えてください。

現在は、後輩の育成に力を入れています。入社して間もないころ、判断ミスをしてお客様から「プロとして失格だ」と叱られたことがあります。大変ショックを受けたのですが、同時に「プロ」としての意識が足りなかったことにも気付かされました。お客様にはご迷惑をおかけしましたが、仕事への姿勢を正す良い経験になりました。後輩にはこうした自分の経験を交えながら、指導するよう心掛けています。当課の仕事には男女の差はありません。その分、女性の後輩のフォローにはより配慮するようにしています。私たちの世代から、結婚・育児を機に辞める女性も少なくなりました。今後も後輩たちにとっても良い目標となれるよう、頑張っていきたいと思っています。

——ありがとうございました。

会社概要

株式会社ANA Cargo

株 主: ANAホールディングス株式会社(100%)

設 立: 2013年10月1日

営 業 開 始: 2014年4月1日

本社所在地: 東京都港区東新橋1丁目5番2号汐留シティセンター

代 表 者: 代表取締役社長 外山 俊明

成田ウェアハウスオペレーションセンター所在地:

千葉県成田市駒井野字台の田2071第4貨物ビル内



【事業概要】

2001年11月、ANAロジスティクスサービス(株)設立。2002年7月～2003年11月、ANAロジスティクスサービス(株)がANAグループ内4社と合併。2013年10月、(株)ANA Cargo設立。2014年4月、ANAロジスティクスサービス(株)と統合し、営業を開始。ANAグループにおける貨物事業を統括し、一体的に運営する新事業会社として開業した。フレイター(貨物専用機)、旅客機による国際線・国内線ネットワークを活用して、グローバルなサービスを展開。ANAグループの貨物ビジネスを一手に担っている。